

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	世界遺産保存活用事業				シート番号	008-068
担当部署名	文化観光	局	文化	部	世界遺産	課 評価責任者(課長名)
						十河

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 17 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	百舌鳥古墳群には、かつては大小合わせて100基以上の古墳があったが、都市化の進展などにより、現在ではおよそ半数になっている。その中には、世界三大墳墓に数えられる仁徳天皇陵古墳をはじめとする巨大前方後円墳などが含まれており、古墳文化を代表するとともに市民に親しまれている貴重な歴史遺産である。この百舌鳥古墳群を次世代へ保存・継承するとともに、歴史と文化を活かしたまちづくりに活用していくものである。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大阪府・羽曳野市・藤井寺市)				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、来訪者等				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を人類共通の資産として保存・継承し、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、資産の価値や維持保存に対する理解・意識の高揚に取り組む。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに構成する「百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議」や「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会」、民間企業等と連携し、百舌鳥・古市古墳群の更なる情報発信や保存意識の醸成に取り組む。 また、資産の保全状況等について、ユネスコ・イコモスへ報告するためのモニタリングを実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	委託業務の受注業者、世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	36,683	35,331	42,671	40,094	46,402	338,957	37,289	
主な事業費内訳	百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議負担金(H23~)	千円	17,490	16,475	21,924	19,331	20,955	19,903	16,807
	講演会等開催・PR物品制作等	千円	3,272	4,646	1,864	1,759	1,590	816	8,054
	百舌鳥古墳群調査研究・事例視察	千円	708	424	3,995	2,694	6,874	613	0
	関係機関調整	千円	4,078	2,575	2,104	486	1,468	1,369	1,970
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	130	178	300	318	300	38	200
財源内訳	市債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他(寄付金(世界遺産保存活用推進基金)、繰入金)	千円	5,600	5,743	6,248	10,794	10,548	309,708	12,348
一般財源	千円	30,953	29,410	36,123	28,982	35,554	29,211	24,741	
12 人件費 (b)	千円	50,900	53,360	53,360	53,360	53,100	51,030	28,700	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	87,583	88,691	96,031	93,454	99,502	389,987	65,989	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	世界遺産保存活用事業	シート番号	008-068
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	5月のイコモス勧告、7月の世界遺産委員会に大阪府、羽曳野市、藤井寺市と連携して、関係省庁との連絡、調整を密に適切に対応し、世界遺産登録が実現した。また、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会をはじめ民間と連携し、登録決定時のパブリックビューイングや登録記念イベントの提灯行列等のイベントを実施した。登録後には、古墳セサツアレーや市民向けの考古学講座等を実施し、保存意識の醸成に取り組んだ。また、モニタリングの手法についての検討を行った。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	講演会等の参加者数	人	目標値	700	800	900	450
			実績値	1,039	1,055	1,638		
			達成率	148%	132%	182%		
		評価	大変良い	大変良い	大変良い			
		算出方法・設定根拠など	講演会等事業に多くの方々に参加していただくことが、古墳群の価値や魅力に対する理解を深めることに繋がるため、世界遺産登録に向けたイベント等の機運醸成が終了したこと、また新型コロナウイルス感染症拡大防止によりイベントの実施が困難であることを考慮し、令和2年度の目標値を設定。					
		定性的な目標						
16	令和元年の百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録							
		目標に対する実績	7月に世界遺産登録が実現した。					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	講演会等の参加者数	人	1,039	1,055	1,638
	②	上記①にかかる年間経費	千円	88,691	93,454	89,987
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	85,362	88,582	54,937
		備考(算出についての説明等)				
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
		備考(算出についての説明等)				

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	イコモス審査や世界遺産委員会に適切に対応した結果、世界遺産登録が実現した。また、世界遺産に登録されたことで、百舌鳥・古市古墳群への関心がいつそう高まったことが講演会等参加者数の増加に結びついていると考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	世界遺産保存活用事業	シート番号	008-068
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・古墳群についての保存意識の醸成ができなくなる。 ・ユネスコ、イコモスへの5年に1回の報告のため、毎年モニタリングデータを蓄積することができなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・古墳群についての保存意識の醸成ができなくなる。 ・ユネスコ、イコモスへの5年に1回の報告のため、毎年モニタリングデータを蓄積することができなくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 世界遺産の資産管理者に課されているモニタリングについては必須であるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、古墳セスナツアーを廃止した。また、市が独自で開催するその他のイベントや、負担金を支出している百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議において実施するイベント等の実施の要否・回数・規模・内容等を見直すことで、コストを縮減することが可能である。しかし、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議のイベント等の見直しについては、同会議を構成する1府2市との協議が必要になる。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 従来実施する予定であったイベントについて、開催時期の変更や動画配信での代替など、実施手法の検討を適切に行っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (観光部・博物館) 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ①「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会」等の民間団体や企業等と連携している。 ②イベントを動画配信に代替するなど、ICTを活用している。 ③観光部とは情報発信について、博物館とはガイド機能について、役割分担・連携を行っている。 ④文化庁・宮内庁といった国の機関や、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議をともに構成する大阪府と連携して、事業を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 講演会等については、新型コロナウイルス感染症流行の状況も考慮しながら、実施すべきか否かの判断を適切に行う。また、世界遺産の魅力を市内外に発信するため、府内外の古墳関連自治体との連携策の検討を進める。		